



10月

いきいきかわら版仙台支部第44号

10月23日に二十四節季の霜降が過ぎ、まもなく11月7日には立冬が訪れます。宮城にもいよいよ冬がやつて参ります。

最近、春や秋の気持ちの良い季節が短く感じるのは、筆者だけでしょ
うか？朝・夕は結構な寒さを感じ
始めました。

今年の冬は、コロナ感染とインフル
エンザの流行が重なり、また、医療
がひっ迫するのではないかとの憶測
が出ております。

会員の皆様におかれましては、引
き続き、両面の感染防止を徹底し
て、穏やかな日々をお過ごし下さい。



10月1日(土)にいきいきつながる会
と共同開催を行っております、東北
福祉大学様主催のシニア福祉アドバイ
ザー認定試験が3年振りに東口キャ
ンパスで実施されました。

昨年、一昨年と受験者からの申し
込みはありましたが、コロナ感染に配
慮した大学側が、中止をしております
した。

福祉大学様からの依頼で3年振り
に検定前講習会の講師として筆者が
登壇させて頂きました。

受験生は、一般からの申込者8名、
大学学生7名、計15名となりました
が、一般受験生の中には、介護施設
運営者の方や介護従事者の方も参加
されておりました。

これから益々、高齢化が進む日本に
おいての危機感と終活コンサルティン
グ力の重要性をお持ちの方が多いこ
とを痛感致しました。

約3時間の検定前講習会にも関わ
らず、皆さん、真剣に受講頂き、本試
験に臨んで頂きました。主催者、協賛
者として充実した時間を過ごさせて
頂きました。また、来年も実施出来
ることを切に祈るばかりです。



シニア福祉アドバイザー 潔のワンポイント講座

仙台支部は毎月1回仙台市シルバーセンターで終活無料相談会を実施しております。今回は、相談頂いた内容を皆様にお伝えしたいと思います。ご参考になれば幸いです。

【相談者70代女性お一人で生活】

～終活は何から始めればよいですか？
この問いに関しては、先月のかわら版で皆様にもお伝え致しました

- ①身の回りを整理する事
- ②エンディングノートの作成
- ③生前に契約できる事は、ご自身の意思で契約を行う事をお勧め致しました。

お気軽に
ご相談ください



【相談者70台後半のご夫婦】

～お墓があるが、墓守がない。どうやって墓じまいを行えばよいのか？

・墓じまいは菩提寺の住職との関係が重要となります。お寺によっては、高額なお布施(金銭)を要求するところがあります。しかし、そのお布施は、今までお世話になった感謝のしるしであり、先方からの要求金額を支払う必要はありません。

総代さんへ相談するように言う住職もおりますが、基本的にはお墓を閉じる際のお布施が主となります。ご自身で交渉するのも良いですが、墓じまいの専門家へ依頼する方法もあることをお伝えしました。弊会では墓じまい専門のお墓の相談オカモトを利用しております。必要の際は、お声がけください。

【相談者70代女性お一人で生活】

～甥や姪がお金をせがんでくる。どうしたらよいのか？

ご相談者は、これから先の生活に不安を持っているため、強く拒否する事が出来ないようでした。それは、自分が病気や身体が不自由になった場合に世話にならないかなければならないという思いがあったようです。元気な時には家に来ますが、もし、病気や施設へ入るような状態になった場合、本当に甥や姪を頼れるかの判断をした方が良いとお話しました。この類のご相談は電話でも多く寄せられます。この様な方をサポートするのが、いきいきつながる会です。

強い気持ちで拒否しなければ、いつまでも続きます。これからの人生設計を十分検討頂き、相談頂ければ対応する事をお伝え致しました。

ご相談は多種多様ですが、解決方法は必ずあります。皆様も、お困りごとは弊会へご相談ください。